

## テーマ

## 第1回協議会での主な意見

## 検討内容

### 地域全体での子どもの見守りについて

◆子どもが地域に温かく見守られていると感じることができるような学校を含む地域づくり、見守り体制の構築について

見守り体制のチーム化

- ・地域の見守りの仕組みについて民生児童委員へ丁寧な説明の必要がある。
- ・学校・児相・民児連がチームとして動くことで効果的に取り組むことができる。

PDCAに沿った見守り体制の運用

- ・地域コーディネーターと連絡担当教員が全体を見通し、連携することが必要。
- ・学校と地域が定期的な協議の場を持ち、PDCAに沿って取り組むことが大事。
- ・民生児童委員と学校の充実感、ニーズのマッチングが必要。

自尊感情の視点

- ・地域から学校と違った物差しで認めてもらえることで自尊心が高くなり、いじめを防ぐという視点を地域と学校との連携を考える上で入れてもらいたい。

緊急時の連絡体制

- ・いじめの兆候を発見したら速やかに学校に伝える窓口をどう徹底するか。
- ・関連機関の情報を一元化する場所を。
- ・学校で情報が停滞しないよう組織で速やかに会議を開き、対処・方策を出すまでつなげることが大事。

地域学校協働活動を通じた見守り体制のチーム化について

### ネット問題

◆子ども・学校・保護者・地域が、それぞれの立場でネット問題に関心を持ち、正しいネット利用について主体的に取り組むための方策について

高知県青少年保護育成条例

- ・条例改正について高知県の子どものために非常に良い条例になっていると感じる。成立すればしっかり遵守したい。
- ・現在民間と連携しているが、官と連携した啓発活動を行っていきたい。

- ① 条例(改正)の周知・啓発活動
- ② 条例(改正)の実現に向けての取組

### 相談支援について

◆子どもが気軽に相談でき、安心して過ごすことができるための実効性のある相談支援の在り方について

SNSに対応した相談体制

- ・今の相談機能は電話相談に限られ、SNSに対応した相談体制のミスマッチ(媒体・相談員・転送)がある。そのミスマッチをいかに都道府県で対処していくのか検討してもらいたい。

子どもが相談しやすい媒体について

- ・メール相談は減少傾向。今の若い子どもたちの相談しやすい媒体は変わってきている。子どもたちの相談しやすい媒体について検討する。

心の教育センターでの支援体制の現状

- ・今年度カウンセラーが増加し、初期対応において機能している。
- ・心の教育センターの基本姿勢は支援。その基本姿勢の基、今の人員でどうワンストップ&トータルをどのように具体化していくかが重要である。

- ① SNSに対応したいじめ問題への対策について
- ② 心の教育センターにおける相談支援の現状と課題
- ③ 関係機関同士の情報共有ネットワーク